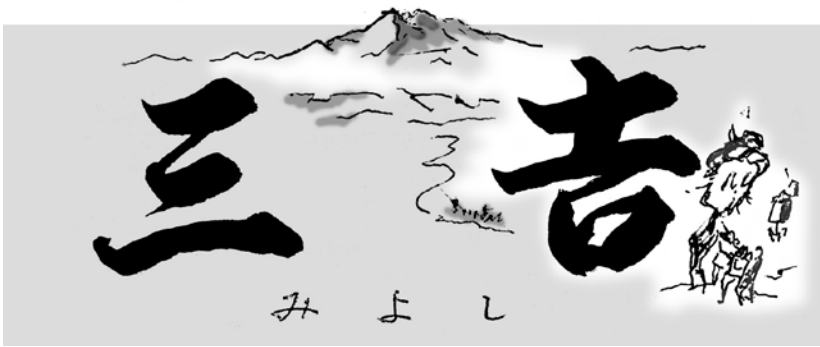




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

太平山頂上物資空輸 (6月21日)

宮司 田村 泰教

【十年一昔】・ご承知のように「時間の経過が早く、世の中の移り変わりが激しいこと」を意味する。▽通信・移動手段が飛躍的に発展し、IT化が進行する現代。時の流れの早さはひと昔前とは比べようもなく、一年前のことさえ、古い出来事のように感じることもある。▽加えて、年齢を重ねるほどに記憶は薄れていき、歳月の移ろいの儚さを身にしみる機会も多くなる、と個人的には感じている。まさに「月日は百代の過客」。▽コロナ禍が始まって三度目の夏を迎えた。ある調査では、終息後もマスク着用を志向する人が半数を超えており、「素顔を見せたくない」マスク依存の方も増えているそう。僅か二年半とは言え、感染症発生前とは行動習慣も大きく変容し、全てが元通りに戻ることはないだろう。▽一昨年の、ある自動車メーカーによる決算発表でのフレーズが胸に残っている。『やめること、変えること、やり続けること』▽不要なものを見極め、変化や改良を加え、肝要なことは粛々と続ける。「言うは易く行ふは難し」ではあるけれど、本質や大切なものを守り抜いていくには、欠かせないプロセスだろう。

## 言挙げ 78

## ご挨拶



権禰宜 長田 祖治

この度、東  
京都渋谷区鎮  
座の明治神宮  
より転任し、  
新鮮な気持ちで毎日を過ごしてお  
ります。

四月一日付を以て太平山三吉神社

権禰宜を拝命致しました。私は神

社の生まれではございませんが、

実家は富山県南砺市（旧井波町）

で代々、神殿・神棚を専門に製造

販売をしており、幼い頃より神社

に親しみを抱いておりました。故

郷の南砺市は越中一宮高瀬神社や

瑞泉寺を中心に神仏への崇敬が篤

い土地柄であり、宮大工が繋いで

きた社寺に関わる彫刻の技法が基

となった井波彫刻は現在でも伝統

工芸として広く親しまれておりま

す。

様々なご縁を頂いて奉職となり

ましたが、私はこれまで秋田県を

ところで、明治神宮在職中に先輩に教わった趣味の一つに温浴施設巡りがあります。

近年『第三次サウナブーム』と言われるほど、若者を中心に温浴施設には多くの人が訪れており、私も以前より親しい先輩や同僚と様々な施設を巡り「ととのつて」まいりました。近年では湖や川、滝など自然の水辺にテント式サウナを設置する施設もあります。温浴施設、特にサウナではサウナ室の「暑さ」、水風呂の「冷たさ」、そして外気浴での「風の心地よさ」と感覚に直に伝わります。このブームは自然との触れ合いが少ない都市部で若者を中心に広がっていることを考えますと、「熱」「水」「風」といった自然に近いものを手軽に感じられる温浴施設は人々の疲れを癒し、楽しむ場所であるとともに、身近な自然との触れ合いの場にもなっているのではないかと考えております。

自然は古来より人々に恵みや癒し、楽しみをもたらすものとして親しまれてきました。神社においては「神体山」「鎮守の杜」など自然と関わりなくして存在することとは出来ない大切なものです。また、自然は人智を超えるものとして多くの人々に神聖視され、時には畏怖されてきました。太平山三吉神社奥宮が鎮座しております太平山も永い歲月の中で数えきれない程多くの人々の信仰の場となっており、今日においても篤い崇敬を受けております。

先人の残してこられた豊かで大いなる自然を有する秋田県のその中央に聳える信仰篤い太平山、その太平山を拝する太平山三吉神社でご奉仕させて頂けることになりましたからには一層の神明奉仕に勤しんで参りたく存じます。秋田県に移り住んで日が浅く、また、神職としても浅学非才の身で至らぬところ多々あるうかと存じますが何卒ご指導の程、宜しくお願い致します。

# 本年の太平山 奥宮奉仕について

本年の太平山頂上奥宮並びに参籠所は、諸事情から例年より短い期間とはなりますが、左記の日程により開所いたします。

未だコロナ禍の終息が見通せない社会情勢を踏まえ、神社主催行事は人数を限定し、手指消毒や検温等を徹底の上、利用者・従事者の安心安全を確保して参りたく存じますので、ご理解・協力の程お願い申し上げます。

是非お誘いあわせの上、ご登拝下さいませ。

※諸行事・参籠所宿泊等につきましては、県外在住の方も可能でございます。

## 【本年の日程】

### ○奥宮奉仕期間

七月八日(金)～九月十七日(土)

奥宮で祈禱を希望の方は事前にご連絡願います

※参籠所(山小屋)の一般利用は九月十五日までとなります

### ○開山祭

七月十七日(日) 午前十時

里宮での神事後、神人奉仕により御神体を、太平山頂上奥宮へお遷し申し上げます。(神人奉仕は県内在住者限定)

### ○山ガール登山会

七月三十日(土)～三十一日(日)

二十代～四十代の県内在住女性(限定十二名)

### ○太平山登ろう会

九月三日(土)～四日(日)

奥宮を参拝し、頂上に泊いたします(限定十二名)

※案内者同行、初心者歓迎

### ○閉山祭

九月十七日(土) 午前十一時

御分霊を奥宮より里宮に還御申し上げ、祭典を行います。

初心者  
大歓迎

## 第11回 『山ガール登山』のご案内

今年で第11回目を迎える女性限定の登山会。秋田市のシンボル霊峰太平山に登り、山頂で1泊します。登山未経験の方、初心者の方、1人でのご参加も大歓迎です(山岳ガイド同行)。

本年も山頂での密を防ぐため、ご参加人数を限定しての募集となります。

【期 日】 令和4年7月30日(土)～31日(日)(1泊2日)

【集 合】 午前9時 里宮

【対 象】 健康な方(20代～40代の女性12名限定)で、体力に自信がある方

【参加費】 7,000円(宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等を含みます)

※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。

【申込み】 電話・FAX・メール等。7月22日締切り。担当：和田



### 1日目

途中御手洗にて昼食・休憩→山頂着15:30頃

### 2日目

旭又着12:00頃(解散)

※ご不明な点(荷物・服装など)に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。



# 令和4年 開山祭

本年の開山祭を左記の日程により斎行いたします。  
是非、多くの方に祭典へのご参列を賜りますようご案内申し上げます。  
※県外の方の神人奉仕も受付しております。

記  
日時 七月十七(日) 午前十時  
於 里宮拝殿

この祭儀は古式に則り、里宮での神事後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂の奥宮にお遷し申し上げます。

○ご参列の方は、七月十日までに係 和田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。

○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。



## 第62回

# 「太平山に登ろう会」のご案内

秋田市のシンボルであり、新日本百名山でもある太平山に1泊いたします。清涼な山頂からは、日本海の夕陽や満天の星空、ご来光など360度のパノラマをお楽しみ頂けます。

当会は、神社関係者が同行案内をしますので、初心者やおひとりでの参加もご安心ください。

ぜひこの機会にお誘い合わせの上ご参加下さい。

記



【期 日】 令和4年9月3日(土)～4日(日)【1泊2日】

【集 合】 午前10時40分 早めの昼食後、里宮集合 安全祈願後出発

【登山路】 旭又コース

【参加費】 (大人) 9,500円 (中・高校生) 7,000円

交通費、宿泊食事代、保険料、写真代等を含む

【申込み】 電話・FAX・メールにて(定員12名先着順)



## ● みよしスケッチ ●



春季例大祭  
五月七日・八日



三吉節を披露いたしました。

秋田食と芸能大祭典  
五月十九日



協定会境内整備作業  
(四月六日)



協定会総会  
(四月十八日)



奥宮視察・整備  
(五月十九日)

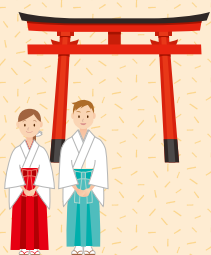
### 奉納者ご芳名

一、高額ご芳志

北上石灰株式会社

代表取締役

多田 祥茂 殿





## 第37回

## 太平山写生会

令和4年7月9日(土)午前9時神社集合(雨天開催)。

主 催 太平山写生会実行委員会  
 後 援 太平山三吉神社総本宮  
 参加申込 当日若しくは事前応募(6/20日~7/8)  
 参加対象 幼児、小・中学生、保護者  
 写生対象 太平山及び神社建物、境内からの風景など  
 様 式 水彩、クレヨン、パステルなど自由  
 審 査 市内小・中学校の先生  
 表 彰 式 8月20日(土)午前9時  
 於：太平山三吉神社齋館  
 入賞者に賞状と副賞を授与

※当日はマスクを着用し、三密を避けてご参加ください

皆様のご参加をお待ちしております！

協賛予定 秋田魁新報社・秋田中央郵便局・  
 東日本電信電話(株)秋田支店・秋田銀行広面支店・  
 北都銀行広面支店・秋田信用金庫広面支店・  
 秋田県信用組合東支店・株式会社マルシン・  
 一ノ関時計店・花のヤマト・株式会社べんてる・  
 (株)木曾塗装・汎山書道教室(順不同)  
 展示予定 秋田中央郵便局・秋田銀行広面支店・  
 秋田県信用組合東支店・北都銀行広面支店・  
 秋田信用金庫広面支店

## 令和4年 下半期主な神事予定 (山関係は上記参照)

|           |       |             |                                               |
|-----------|-------|-------------|-----------------------------------------------|
| 10月1日(土)  | 午前10時 | 印 章 供 養 祭   | 感謝を込めて印鑑を供養するお祭                               |
|           | 午後1時  | 人 形 感 謝 祭   | 愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事<br>(人形は9月20日よりお預かりします) |
| 10月16日(日) | 午後6時  | 秋季例大祭宵宮祭    | 神様の御加護と自然の恵みに感謝する例大祭<br>県内外からの多くの参詣者で賑わいます    |
| 10月17日(月) | 午前11時 | 秋季例大祭当日祭    |                                               |
| 11月23日(水) | 午前9時  | 新 嘗 祭       | 五穀の収穫に感謝する祭事                                  |
| 12月13日(火) | 午前10時 | 煤 払 い 式     | 新年を清々しく迎えるために、境内建物のすず<br>を払う恒例行事              |
| 12月中旬     |       | 神符守札遷霊清祓式   | 新年に頒布するお札・お守りをお祓いする神事                         |
| 12月31日(土) | 午後2時  | 師 走 の 大 祓 式 | 1年の罪・穢れを祓い清め、心新たに新年<br>を迎えるための神事              |

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。

※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



煤払い式



師走の大祓式